ミルキーの後継馬を迎えるために クラファンご支援のお願い

夏休みや秋の連休にはたくさんの方にお越しいただき、ミルキーやアキオと一緒に賑やかであたたかい時間を過ごしていただきました。

「ミルキーと一緒に暮らしていきたい」その想いから「ミルキーの活躍の場を作ろう」と動き出したのが2020年。クラウドファンディングで皆様に温かく支えていただき、ここ北杜市へ移住・URAYAMAでの活動を始めて今年で3年目になりました。

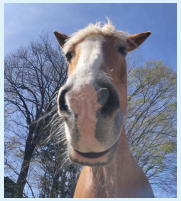
「馬のお世話体験ができる場所」「前髪ぱっつんのミルキーがいる場所」「馬とのんびり過ごせる場所」など、少しずつ知っていただけるようになり、「楽しかった！」と何度も足を運んでくださるリピーターさんや、会員として通ってくれる子どもたちも増えました。ミルキーの周りでたくさんの笑顔があふれていることが、本当にありがたく、嬉しく思います。

10歳で出逢ったミルキーも、今年で27歳。今でもまだまだ元気いっぱいで、アキオのエサを横取りするほどですが（笑）、そろそろミルキーの体の負担を減らし、将来ミルキーの後を継いでくれる「後継馬」を探す決心をしました。そのための第一歩として、7月から8月にかけて馬小屋の増築工事を行いました！アキオの隣にいたヤギーズには外のコンテナにお引越ししてもらい、間の仕切りを外して広々とした馬房に。そしてその隣に、アキオ用の新しい馬房を増築しました。今回も清水馬三昧さんにお願いし、まるで最初からそうだったかのような素敵な仕上がりになっています。

この挑戦は、単に新しい馬を迎えるだけでなく、ミルキーに穏やかなシニア期を過ごしてもらいながら、子どもたちの笑顔を守り続けるためのプロジェクトです。

皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします！



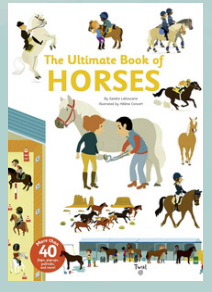


プロジェクトページはこちら→

おすすめの本

『The Ultomate Book of Horses』

Sandra Laboucarie(著)



英語で書かれた馬の図鑑ですが、仕掛けがたくさんあり、見ているだけでも楽しくなります。ミルキーフレンズやアフタースクールの子どもたちにも人気の本です。もともとはフランスで出版された本とのこと。内容は、馬の生態や感覚、ケアの方法、乗馬クラブの様子や競技会、馬の生産、競走馬、馬に関わる歴史など多岐にわたります。洋書を扱っている本屋さんや、ネットで購入できます。

編集後記

今年の夏は梅雨明け直後の猛暑以降、朝夕は比較的過ごしやすく無事に乗り切ることができました。ただ、その涼しさゆえに蚊が多く発生し、ミルキーが蚊のアレルギーを起こして、痒みで身体を柵などに擦り付けて傷だらけになるという出来事がありました。

獣医さんの治療でもなかなか良くならず心配しましたが、子どもたちが一生懸命ブラシをかけてくれたり、破れたフライシート（馬用の虫よけ馬着）を繕ってくれたり、多くの方から自然素材のケア用品などを届けていただいたりと、温かいご支援をいただきました。10月に入って蚊が減り、おかげさまで少しずつ回復に向かっています。ミルキーへのたくさんの愛に、感謝が尽きない夏となりました。

そしてこの秋、いよいよクラウドファンディングに挑戦いたします。馬探しは一筋縄ではいきませんが、皆様のお力もお借りしながら、一歩ずつ前に進んでいきたいと思います。　　（峯崎　友香理）

馬の学校通信のバックナンバーはこちらからご覧になれます。

【発行】　馬の学校 Milky Way
〒408-0002 山梨県北杜市高根町村山北割3107 八ヶ岳南麓 URAYAMA
TEL FAX 0551-30-4397　E-mail umanogakkou@yahoo.ne.jp
ホームページ http://www.horseschool.org
第一種動物取扱業（展示）登録番号：第2241008号 動物取扱責任者：中井（峯崎）友香理

2026 Autumn　Vol.101

馬の学校
Milky way

umanogakkou milkyway 通信





小学生の町探検

6月18日、北杜市立高根東小学校の2年生40名が、生活科「町たんけん」の一環で来てくれました！なんと、普段アフタースクールに参加しているKくんが推薦してくれたとのこと。子どもたちに「馬とのふれあい」と「循環型農業」を体感してもらうため、今回は以下のようなミニワークを行いました。

・一輪車でボロ（馬のうんち）を畑に運び、馬のごはんになる稲わらを運ぶ
・ボロを堆肥にして育てたレタスを、ボウルに入れて馬にプレゼント
・馬が「ふすま水」をごくごく飲む様子を観察

推薦者のKくんは、相棒のミルキー＆アキオを紹介してくれたり、ふすま水を作ってくれたりと大活躍。長期休暇中に行っている「ホーススクール」に参加してくれた子との再会もあり、少しずつ地域に根ざした場所になっていることを実感でき、嬉しい時間でもありました。「馬、かわいかったー！」「また来たい！」と笑顔いっぱいで話してくれた子どもたち。Kくんは「また来週ね〜」と、ちょっと得意げな顔で帰っていきました。

地域の子どもたちと馬たちが紡ぐ時間を、これからも大切にしていきたいです。



新聞・ラジオで取り上げられました！

今年が午（うま）年だから…というわけではありませんが、この春から夏にかけて、新聞や地域情報誌、ラジオなどのメディアで「馬の学校」をご紹介いただきました。

まず5月9日の山梨日日新聞では、「馬と触れ合い 心を育む」と題してミルキーアフタースクールを取り上げていただきました。掲載後、アキオと散歩をしていると「新聞見ましたよ！」とご近所の方から声をかけていただくこともあり、とても嬉しく感じています。

続いて6月には、山梨子育て応援誌『ちびっこぷれす』の動物特集コーナーに掲載されました。子育て世代の方が多く手に取られる誌面ということもあり、「ちびっこぷれすを見ました」と遊びに来てくださる親子連れの方との素敵な出会いがありました。

さらに、その記事を目にとめてくださったYBSラジオの番組制作担当者様からご連絡をいただき、人気番組『はみだししゃべくりラジオ キックス』内のコーナー「まっほ〜っとキッズナビ」でのラジオ紹介へとつながりました。

メディアを通じて私たちの取り組みを知っていただき、新たなご縁や地域の方々との温かい交流が広がっていることを、心より感謝しております。


馬と触れ合い 心を育む
北杜の施設 子ども向けプログラム
放課後の居場所にも
峡北・甲斐

HP,Instagram、Facebookは
ここからアクセスしてね！

冬の予定

詳細は、お問い合わせいただくか、インスタ等でご確認ください。

親子で馬とのふれあい体験
11/21（土）

ウインターホーススクール
12/24（木）26（土）
2027年1/6（水）

活　動　報　告

親子で馬とのふれあい体験

春と秋に開催している「親子で馬とのふれあい体験」。保育園でチラシを配布していただいていることもあり、たくさんのご家族にご参加いただいています。

一番大切にしているのは、最初の「草あげ」に時間をかけること。「どの草が好きかな？」と考えながらあげるうちに、馬との距離がぐんと縮まります。続くブラシがけでは、小さなアキオから大きなミルキーへと挑戦し、じんわりとした温もりを感じます。最後の乗馬では、「一人で乗るか、おうちの人と乗るか」を子ども自身に決めてもらいます。

じっくり過ごす時間、お友だちの頑張る姿、そして「ミルキーフレンズ」の子どもたちの優しいサポート。すべてが重なり合い、子どもたちの誇らしい「一歩」とチャレンジが生まれています。





よりみちひろば　3名で活動中

毎週木曜日、馬の学校では「よりみちひろば」を開いています。現在は3名の子どもたちが、それぞれのペースで大切な一日を過ごしています。

午前中は、馬のお世話と乗馬の時間。 馬小屋の掃除やブラシがけといった「やるべきこと」に向き合う中で、子どもたちの責任感や自立心が少しずつ育っていきます。乗馬では、自分の「やってみたい！」を大切に。馬の背中でゆったり寝転んだり、走ってみたり、お散歩に出かけたりと、さまざまなチャレンジの中で豊かな表情を見せてくれます。

午後は畑へ向かい、農作業のお手伝い。 種をまき、収穫し、使った道具を丁寧に片付ける。土の匂いや作物の変化を通し、五感で季節を感じる心地よい時間が流れます。

自分らしくいられる場所で過ごすこと。 それは、子どもたちが内に秘めた「本来の力」をゆっくりと発揮していくプロセスでもあります。私たちは焦らず、その力をのんびりと待つ時間を大切にしています。